

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束についての研修計画、参加に取り組むなど、「利用者にとっての拘束とは」を考える機会を増やすことを期待したい。	①入居者の安全を確保しながら身体拘束のないケアに取り組む。 ②ホーム内外の身体拘束に関わる研修に参加する。	①職員会議で、現在の身体拘束をしている入居者に対して、必要か否か再検討し、1人は、車椅子ベルトを外す事が出来た。もう1人に対しても、日中外せるように試行している。ペットの柵に関しては、まだ、継続中。②ホームの年間研修に取り入れ、また、外部の研修にも積極的に参加したい。	6ヶ月
2	26	介護計画が日々のケアの中で、どのように展開されているか、日々の記録に反映され、計画との関連が見える記録の工夫を期待したい。	介護計画に沿った記録が、見てすぐにわかるようにする。簡単で明確な記録にする。	介護記録のファイルに1人1人の介護計画を挟んで、それを見ながら数字で記入する。介護計画をよく読んでプランを意識しながら記入するようにしている。	3ヶ月
3	11	職員個人の年間振り返りの機会を設け、また管理者評価を返すことで、さらなる運営に関する意見を促し反映がされることを期待したい。	職員に向上心をもってもらい介護の質を高める。また、入居者に担当をつけて、その人に何が大切か、何をすれば喜んでもらえるか、などを考えてもらい運営に反映する。	年度初めに職員1人1人に理念に沿った今年の目標をたててもらい、意見を聞く時間を設けた。また、職員に入居者を担当させ、何をすべきか、考える機会を与える。目標に関しては、半年、1年で振り返りの時間を設ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。